

つくばみらい市国民健康保険
第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）
及び第三期特定健康診査等実施計画
中間評価

つくばみらい市

1. 中間評価の目的

本市は、平成30年3月に「つくばみらい市国民健康保険第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第三期特定健康診査等実施計画」を策定し、健康・医療情報を活用しP D C Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ってきました。

本計画の期間は、平成30年度から令和5年度までの6か年であり、中間年度にあたる令和3年度に進捗確認及び中間評価を実施することが明示されています。今回の中間評価では、本計画策定時に設定した目標の達成状況や関連する取組みの進捗状況を確認し事業内容の評価をすることで、目標達成に向けた課題を明らかにし、今後の事業に反映させることを目的としています。

2. 中間評価の方法

評価にあたっては、下記のとおり基準を設定し、各目標に対する計画前期の実績値について評価を行いました。

A	目標を達成している。
B	目標は達成していないが、改善が見られる。
C	改善が見られない。
D	評価が困難である。

3. 中間評価

本計画は第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第三期特定健康診査等実施計画が一体的に策定されており、各々に複数の目標を設定しています。本章では、まず、第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）について記載し、次に第三期特定健康診査等実施計画について記載しています。

なお、評価に用いた実績値には暫定値又は速報値を用いている場合があります。

（1）第二期保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間評価

課題1 生活習慣病の予防による医療費の抑制【中期目標】

目的	健康に対する意識づけ				
実施内容	青年団体等の若い世代を中心に、良好な生活習慣と健康についての意義を知ってもらい、意識の向上を図る。				
目標	生活習慣等の効果的なポピュレーションアプローチの実施 開催回数及び参加者数の対前年比増				
目標値	年度	<中間目標値> 令和3年度		<最終目標値> 令和5年度	
	開催回数	10回		12回	
	延参加者数	700人		800人	
実績値	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	開催回数	44回	51回	9回	5回
	延参加者数	1,044人	934人	60人	29人
評価	D（評価困難）				
	令和元年度までの実績は中間目標値を上回っていましたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響から、講義や教室等といった従来型のポピュレーションアプローチの実施が大幅に制限されました。代替として、令和2年度は広報紙に健康（ウォーキング）に関する記事を掲載することで啓発を行いました。事業の大幅な縮小を余儀無くされたため、「評価困難」としました。今後は、新型コロナウイルス感染症予防を考慮したポピュレーションアプローチについて検討していく必要があります。				

※令和3年度実績は令和3年10月時点。

課題 2 - 1 生活習慣病発症予防【中期目標】

目的	高血圧症発症リスクの減少			
実施内容	対象者に高血圧を予防するための健康教室・健康指導等を実施する。			
目標	特定健康診査受診者の収縮期血圧150mmHg以上の割合を6.5%以下にする。			
目標値	<中間目標値> 令和3年度		<最終目標値> 令和5年度	
	7.1%		6.5%	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	9.1% (263人/2,899人)	9.4% (262人/2,795人)	12.5% (241人/1,925人)	7.8% (34人/435人)
評価	C (改善が見られない)			
	実績値には明確な改善傾向は見られず、目標も未達成見込みです。健康教室・指導等は実施しているものの、数値を改善させるには至っていません。今後も事業は継続しつつ、事業の量、質共に向上させていくための検討が必要です。			

※実績値の括弧内は「収縮期血圧150mmHg以上の人数/特定健診受診者数」を表す。

※令和3年度実績は令和3年10月時点のKDB抽出分（令和3年4月～6月受診分）

課題 2 - 2 生活習慣病発症予防【中期目標】

目的	糖尿病発症リスクの減少			
実施内容	対象者に、糖尿病を予防するための健康教室・健康指導等を実施する。			
目標	特定健康診査受診者のHbA1c値6.0%以上の割合を増加させない。			
目標値	<中間目標値> 令和3年度		<最終目標値> 令和5年度	
	24.4%		24.2%	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	30.1% (874人/2,899人)	29.0% (811人/2,795人)	29.4% (565人/1,925人)	24.6% (107人/435人)
評価	C (改善が見られない)			
	実績値には明確な改善傾向は見られず、目標も未達成見込みです。健康教室・指導等は実施しているものの、数値を改善させるには至っていません。今後も事業は継続しつつ、事業の量、質共に向上させていくための検討が必要です。			

※実績値の括弧内は「HbA1c値6.0%以上の人数/特定健診受診者数」を表す。

※令和3年度実績は令和3年10月時点のKDB抽出分（令和3年4月～6月受診分）

課題 2 - 3 重症化予防【短期目標】

目的	高血圧症の減少			
実施内容	対象者に訪問または電話で受療勧奨を行い、レセプトで受療確認を行う。			
目標	特定健康診査受診者の収縮期血圧160mmHg以上の未受療者割合を0.5%以下にする。			
目標値	＜中間目標値＞ 令和3年度		＜最終目標値＞ 令和5年度	
	0.68%		0.50%	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	1.31% (38人/2,899人)	1.36% (38人/2,795人)	1.45% (28人/1,925人)	0.92% (4人/435人)
評価	C (改善が見られない)			
	実績値には明確な改善傾向は見られず、目標も未達成見込みです。受療勧奨は実施しているものの、数値を改善させるには至っていません。今後も事業は継続しつつ、事業の量、質共に向上させていくための検討が必要です。			

※実績値の括弧内は「未受療者数/特定健診受診者数」を表す。

※令和3年度実績は令和3年10月時点のKDB抽出分（令和3年4月～6月受診分）

課題 2 - 4 重症化予防【短期目標】

目的	糖尿病の減少			
実施内容	対象者に訪問または電話で受療勧奨を行い、レセプトで受療確認を行う。			
目標	特定健康診査受診者でHbA1c値6.9%以上の未受療者割合を0.2%以下にする。			
目標値	＜中間目標値＞ 令和3年度		＜最終目標値＞ 令和5年度	
	0.28%		0.20%	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0.72% (21人/2,899人)	0.43% (12人/2,795人)	0.57% (11人/1,925人)	0.92% (4人/435人)
評価	C (改善が見られない)			
	実績値には明確な改善傾向は見られず、目標も未達成見込みです。受療勧奨は実施しているものの、数値を改善させるには至っていません。今後も事業は継続しつつ、事業の量、質共に向上させていくための検討が必要です。			

※実績値の括弧内は「未受療者数/特定健診受診者数」を表す。

※令和3年度実績は令和3年10月時点のKDB抽出分（令和3年4月～6月受診分）

課題3 特定健康診査受診率の向上【短期目標】

目的	生活習慣病の早期発見・早期治療			
実施内容	集団健診実施方法の見直しや、受診できる医療機関の拡充を図り、新規受診者の開拓に努める。			
目標	特定健康診査受診率の向上			
目標値	<中間目標値> 令和3年度		<最終目標値> 令和5年度	
	52.6%		60.0%	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	33.8% (2,655人/7,862人)	34.2% (2,608人/7,616人)	24.2% (1,822人/7,522人)	
評価	C (改善が見られない)			
	実績値には明確な改善傾向は見られず、目標も未達成見込みです。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から、集団健診の一部中止や定員の縮小等を余儀無くされ、受診率が下落しました。今後は、より効果的な受診勧奨事業の実施、気軽に健診が受診できる体制づくり等を推進し、受診率を向上させる必要があります。			

※実績値の括弧内は「特定健診受診者数/対象者数」を表す。

※令和3年度実績は令和4年度に判明するため、記載しておりません。

課題4 特定保健指導実施率の向上【短期目標】

目的	生活習慣病の発症予防、重症化予防			
実施内容	案内通知の郵送や電話等、それぞれに合わせたきめ細かい利用勧奨の実施			
目標	特定保健指導終了率の向上			
目標値	＜中間目標値＞ 令和3年度		＜最終目標値＞ 令和5年度	
	46.5%		60.0%以上	
実績値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	18.0% (70人/389人)	24.6% (96人/391人)	29.2% (82人/281人)	
評価	B（目標は達成していないが、改善が見られる）			
	目標は達成できない見込みですが、特定保健指導終了率は上昇傾向にあり改善が見られます。令和元年度から、保健指導対象者として見込まれる被保険者に対し、集団健診時に初回面接の分割実施を行えるよう体制を整えたことが、主な要因であると考えられます。今後も、この取組みを継続し、更なる向上を目指します。			

※実績値の括弧内は「特定保健指導終了者数/対象者数」を表す。

※令和3年度実績は令和4年度に判明するため、記載しておりません。

課題5 介護予防【中期目標】

目的	介護予防の重要性についての意識啓発				
実施内容	パンフレット等を活用した基本的な知識の普及啓発や、介護予防に関する講座の開催。				
目標	開催回数及び参加者数の対前年比増				
目標値	年度	<中間目標値> 令和3年度		<最終目標値> 令和5年度	
	開催回数	280回		280回	
	延参加者数	5,800人		5,900人	
実績値	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	開催回数	319回	369回	107回	119回
	延参加者数	6,622人	7,252人	1,891人	1,729人
評価	D（評価困難）				
	令和元年度までの実績は中間目標値を上回っていましたが、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響から、講座等の実施が大幅に制限されました。事業の大幅な縮小を余儀無くされたため、「評価困難」としました。今後は、新型コロナウイルス感染症予防を考慮した事業についても検討していく必要があります。				

※令和3年度実績は令和3年10月時点。

(2) 第三期特定健康診査等実施計画の中間評価

第三期特定健康診査等実施計画では、特定健康診査受診率、特定保健指導実施率及び特定保健指導対象者の減少率の3つの指標について目標を設定していますが、特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率については、前述の課題3・課題4と重複していますので、本項では省略します。

特定保健指導対象者の減少率（平成20年度比）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値	28.0%	28.0%	28.0%	28.0%	28.0%	28.0%
実績値	30.2%	28.6%	26.6%			
評価	A（目標を達成している）					
	概ね目標を達成しています。 今後も取組みを継続し、更なる改善を目指します。					

※特定保健指導対象者の減少率とは、平成20年度と比較し、どの程度特定保健指導対象者が減少したかを表す値です。（平成20年度の特定保健指導対象者出現率—当該年度の特定保健指導対象者出現率）÷平成20年度の特定保健指導対象者出現率で算出されます。

4. 今後に向けて

本計画に記載された9つの目標の評価結果のまとめは、下記のとおりです。

評価結果	目標数
A（目標を達成している）	1
B（目標は達成していないが、改善が見られる）	1
C（改善が見られない）	5
D（評価が困難である）	2

結果を概観すると、事業自体は実施しているものの、その取組みが指標に十分に反映されず、「C（改善がみられない）」と評価されたものが全体の半数でした。これらについては、事業の量が不足している又は事業の内容と指標との関連性が弱い等の可能性が考えられるため、今後は関係部署（国保年金課、健康増進課等）間での連携を緊密にし、改善策の検討に取り組んでいく必要があります。また、これら5つのうち4つについては、健診受診者の検査値に係る課題であり、これらの改善には長期的な取組みを継続していくことも重要だと考えられます。

また、比較的順調に推移している課題については、これまでの取組みを継続し、更なる改善を目指します。

本計画策定時、いくつかの課題において、最終目標を極めて高い水準に設定しました。それらについては現状の実績を鑑みると、今後最終目標の達成は困難であろうと言わざるを得ない状況です。中間評価においては、必要に応じて目標値の見直しを行うことも可能ですが、今回は目標の下方修正等を行わないこととします。本計画全体の方向性は誤っていないと考えられるため、安易に目標値を下方修正するよりも、当初設定した目標を尊重し、今後の実績値を向上させ、目標に可能な限り近づける努力を継続すべきであると考えられるためです。

新型コロナウイルス感染症は未だに猛威をふるい、保健事業についても多大な影響を及ぼしていますが、「新たな日常」の下での保健事業のあり方についても検討を進め、今後も効果的かつ効率的な保健事業の推進に努めてまいります。